

大空地区義務教育学校 地域交流スペースの活用

1. 検討の目的

大空小学校及び大空中学校において、これまでも学校支援ボランティアの学習会や地域見守り活動などの取り組みが盛んに行われている。さらに、令和元年10月からは、小中合同でコミュニティ・スクールを導入したところ。今後、活発な学校・家庭・地域の連携・協働を進めるために、地域交流スペースの活用は重要となることから、地域連携に関する会議や事業を行うために、どのような整備が必要なのか検討を行うもの。

2. 基本的な利用の考え方

- 児童生徒の教育活動に関わる事業（会議）等を行うスペース
- 事業等での活動時間は原則学校の稼業日及び稼業時間
- 地域連携活動の利用だけではなく、利用していない時間には教育活動等にも活用

3. 検討事項

(1) 事業の内容

(2) 整備の内容

参考. 帯広市立大空中学校適正規模の確保等に関する実施計画（抜粋）

4. 小規模化の影響に対する具体的な取り組み

(2) 義務教育学校の位置及び施設整備

- 長寿命化改修に伴い、コミュニティ・スクールの取り組みなどを円滑に推進するための地域連携スペースの整備や、現在、大空小学校内にある児童保育センターとの複合化について検討します。